

地道なネットワークづくりで僧侶派遣サービスを拡大

(株)B-WAYグループ [埼玉県川口市]

■全国の寺院とネットワーク構築

年間約9,000件の僧侶派遣

埼玉県川口市に本社をおく(株)B-WAYグループは、全国約500か寺と提携して、全国約200社の葬儀社や霊園に仏教各宗派の僧侶紹介業務を行なっている。

社長の齋藤浩司氏は、大学卒業後に冠婚葬祭互助会に入社して葬祭業に携わり、その後、専門葬儀社の経営に関わりながら夜間学校で僧侶資格を取得し、齋藤淨寛の得度名で僧籍をもつ。10年間葬儀社で働いた経験から、今後は僧侶派遣の需要がますますふえると想したこと加え、僧籍を取得したことで知り合いの葬儀社や石材店から葬儀や法事などで読経依頼が入るようになったことから、僧侶派遣サービスの需要拡大を確信して「八正会」を立ち上げ、2001年にはグランド・レリジョンとして法人化(12年にB-WAYグループに社名変更)した。

設立当初は、それまで地方に寺院をもっているものの、檀家の減少により生計を立てられず、首都圏に布教所を設置し、活動している僧侶との連携を進めていた。しかし、今後さらなる信頼を得るためにには近隣に寺院をもつ僧侶の存在が不可欠と考え、09年夏頃から齋藤社長自ら関東全域の寺院に足を運び、ネットワークづくりに注力した。その結果、関東のみならず関西やそのほかの地域の寺院とも提携が拡大。現在は提携寺院が約500か寺までにふえ、近年は、僧侶から提携希望の問合せが頻繁にあるという。

同社は多くの寺院と提携しているので、遺族や葬儀社の要望に合わせた僧侶派遣ができる体制が構築されている。宗派は天台宗、真言宗、浄土宗、浄土真宗、曹洞宗、臨済宗、日蓮宗など仏教各宗派に対応し、現在は年間の僧侶派遣数が8,917件にのぼる。その内訳は、通夜・葬儀約2,000件、1日

●(株)B-WAYグループの概要●

所在地●埼玉県川口市芝新町9-3
TEL●048-264-7694
FAX●048-264-7695
設立●2001年
代表者●齋藤浩司
<http://www.zensyu-ren.co.jp/>



カンボジアの孤児院で語学を教える齋藤浩司社長

葬約1,000件、直葬が約400件、法事約5,000件、水子供養約500件となっており、さまざまな依頼に対応している。規模や形態にかかわらず、徹底して1件1件ていねいに対応することで、寺院や葬儀社からの信頼を得ている。

■寺院建立・宗教法人を認証

積極的なCSR活動への取り組み

僧籍をもつ齋藤社長は、05年にさいたま市岩槻区に非法人の寺院を建立。10年には宗教法人の認証を得て、「宗教法人青雲山蓮淨院」として、通夜・葬儀、法事などをはじめ、水子供養や人形供養といったさまざまなご供養に取り組んでいる。

09年には埼玉県川口市に、事務所機能を兼ねた3階建てのビル型寺院「蓮淨院別院」も開設した。別院は1階にコールセンター、3階は法要室や預骨堂も設けている。そして2階には同社特有のCSR推進室がある。

同社ではCSR活動(企業の社会貢献活動)にも積極的に取り組んでいる。05年からはお寺で余ったお供え物を、障害児入所施設に届けるフードバンクをはじめ、東日本大震災直後からは、被災地の児童養護施設との交流を続けている。さらに、東南アジアの貧困に苦しむ子どもたちへの生活・教育支援を進め、現在はカンボジアのスラムで孤児院と幼稚園の運営も行なっている。

日本は欧米と比較してCSRに20年の遅れがあるといわれ、いまや「CSRなくして企業の成長はない」「CSR情報も財務情報と同様に重要な経営判断材料」ともいわれる時代。「仏事サービスを世界の子どもたちに還元したい」という想いで、今後もこの活動を同社の中核と位置づけている。また、「どのようなCSR活動をすればいいのか?」と模索している企業があれば、ともに活動したいとも考えている。



宗教法人を新規認証した蓮淨院